

アルジェリア政治・経済月例報告

(2023年3月)

2023年3月

在アルジェリア日本国大使館

内政

- 5日、テブン大統領は、トルコ及びシリアでの地震に際して救出活動に従事した市民防衛隊（消防）、空軍、及びアルジェリア赤新月社の関係者を表彰。
- 7日、国民議会（下院）は、上下両院の組織及び機能を定める組織法案、労働組合の権利行使に関する法案等を可決。
- 7日、テブン大統領は国際女性デーに際してメッセージを発出。
- 15日、ベンアブドゥルラフマーン首相は政府会合にて、年金受給額の改善に関する改正法案、農業一般調査に関する政令案、医療施設の新設、資源リサイクル及びスタートアップ支援等に関する政令等を審議。
- 16日、テブン大統領は内閣改造を実施。
- 18日、ムルジ文化芸術相は、ブジェドゥール（サハラ難民キャンプ）にて、「サハラ・アラブ民主共和国（SADR）」との間で、文化協力の強化とサハラウィ国立劇場の創設に関する枠組み協定を締結。
- 20日、テブン大統領は閣議にて、新閣僚への就任に際した基本方針を指示し、ラマダン月の大量消費物資の市場への供給に関する問題や、海水淡水化及び飲料水供給プロジェクトの進捗状況について議論した他、デジタル化の促進等につき指示。
- 29日、国民議会及び国民評議会（上院）の組織及び機能に関する法案が国民評議会にて可決。
- 29日、国民議会は情報に関する組織法案、人身取引に関する法案及び労働組合の権利行使に関する法律を可決。
- 29日、ベンアブドゥルラフマーン首相は政府会合にて、民間航空庁の設立及び零細企業支援の強化について審議。

外交

- 2日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、アゼルバイジャンで実施された非同盟運動首脳会合にテブン大統領の代理として出席。
- 2日、ブガリ国民議会議長はカタールのアリ・ビン・サミー・アール・マリー労働相と会談。
- 2日、テブン大統領はナイジェリアのティヌブ新大統領に祝意のメッセージを発出。
- 4日、外務省はコミュニケにて、インドネシアの石油貯蔵施設における火災に

つき、被害者遺族への弔意及び同国への連帯を表明。

● 6日、テブン大統領はナイジェリアのティジャニヤ教団の代表と会談。

● 6日、テブン大統領はジェンキンス米国務次官（軍備管理・国際安全保障担当）と会談。

● 7-8日、カップリ・クロアチア議会外交委員会議長が当国を訪問。ベラーニ外務事務次官と会談した他、ハムード国民評議会副議長、ブガリ国民議会議長と会談。

● 10日、シェングリハ国軍参謀総長はハッダード・リビア国民統合政府軍参謀総長と会談。

● 10日、当国外務省は、サウジアラビアとイランの外交関係回復を歓迎し、中国による仲介に対する満足を表明。

● 11日、テブン大統領は、習近平国会主席に対し国家元首再選への祝辞を发出。

● 11-13日、ムセベニ・ウガンダ大統領が当国を訪問。テブン大統領との会談で西サハラ及びアフリカの課題についての見解の一致を確認すると共に、2つの協定と5つの覚書を締結。

● 12日、アルジェ県とモスクワ市が複数分野での協力・提携活動を行うための覚書に署名。

● 12-13日、ボレルEU上級代表が当国を訪問し、ベンアブドゥルラフマーン首相と会談。

● 14日、ベラーニ外務次官は、ハムラム欧州司法機構長官と会談。ボレルEU上級代表訪問後のフォローアップとして汚職対策、資金洗浄、及び海外への不正な資産移転に関する刑事司法協力につき協議。

● 14日、シェングリハ国軍参謀総長はマパーニャ南ア国防軍司令官と会談。両国の軍事協力の現状及びその発展のための手段について議論。

● 14-16日、マトヴィエンコ露連邦院議長は、アルジェリアを訪問し、テブン大統領及び両議会議長と会談。15日、国民議会及び国民評議会の代表団は、3月19-20日にモスクワで開催される第2回露・アフリカ国際議会会合出席に向けた調整会合を実施。15日、国民評議会及び露連邦院の間でアルジェリア・露友好議連が発足。

● 15日、ベラーニ外務次官は、ヤブロンスキー・ポーランド外務次官（開発政策・アフリカ・中東担当）と第6回政治協議を実施。

● 15-16日、パレスチナのイスマイル・ハニヤ・ハマス代表は当国を訪問。グジル国民評議会議長及びブガリ国民議会議長と会談。

● 19日、アッターフ外相はポープ国際移住機関（IOM）副事務局長と会談。

● 19日、ベラーニ外務次官は、アールフォルス・フィンランド平和調停センター長と面会。

- 20日、アッターフ外相は、アマール・チュニジア外相及びメルズーク・モータニア外相から、21日、アブダラー・UAE外相及びチャヴシュオール・トルコ外相から、22日、シュクリ・エジプト外相から祝辞の電話を受け会談を行った。
- 22日、テブン大統領はラマダン開始に際して、サイード・チュニジア大統領、ガズワニ・モータニア大統領、エルシーシ・エジプト大統領及びタミーム・カタール首長と電話会談。
- 22日、外務省は、スモトリッチ・イスラエル財務相兼国防相内大臣による発言に関し、挑発的な宣言を断固非難する旨発表。
- 23日、アッターフ外相はファイサル・サウジ外相と電話会談。
- 23日、ベンアブドゥルラフマーン首相はブデン・チュニジア首相と会談し、チュニジアのIMFとの交渉における連帯を表明。
- 24日、テブン大統領は、マクロン仏大統領と電話会談を行い、二重国籍者の亡命再発防止のため関係機関の連携強化を合意した他、訪仏予定や駐仏アルジェリア大使の帰任について協議。
- 24日、テブン大統領はアール＝サーニー・カタール前首長、アッバース・パレスチナ議長と電話会談にてラマダンの挨拶を行った。
- 26日、アッターフ外相はサファディ・ヨルダン副首相兼外相と電話会談。
- 27日、アッターフ外相はアリ・スーダン外相と電話会談。
- 27日、アルジェリア・スイス友好議連が発足。
- 28日、テブン大統領はマッタレッタ伊大統領と電話会談を行い、第9回地中海対話ハイレベルフォーラムへの招待を受領。また、ラマダンの挨拶としてエルドアン・トルコ大統領と電話会談。
- 28日、アッターフ外相はエル＝マンガージュ・リビア外相と電話会談。
- 29日、アッターフ外相はタヤーニ伊外相と電話会談。
- 28日、アルジェリア・クウェート友好議連が発足。
- 28日、アッターフ外相はシャーマン米 국무副次官と電話会談。外相就任への祝辞を受領した他、西サハラ問題におけるデ・ミストゥラ個人代表特使への支援を含め、共通する関心事項について議論。
- 30日、アッターフ外相はアブルゲイト・アラブ連盟事務総長、ジョリー・カナダ外相、及びアブドラヒアン・イラン外相と電話会談を実施し、それぞれ二国間協力の促進につき協議。
- 30日、パリに帰任した駐仏アルジェリア大使は仏外務省事務次官と会談。

経済

- 2日、ソネルガス社は、内需・外需に応えるべく、全体最大出力2000MWの発電量となる国内15の太陽光発電所の立地場所として11か所のリストを公

表。● 9日、アルジェリア保険業者連合（UAR）は、2023年の自動車製造・輸入台数は、約8万台と推定され、これによる保険会社の売上は、15%増加する見通しを発表。

● 13日、伊フィアット、オペル、中国JACの自動車ディーラーが輸入の最終承認を受け、近日中の輸入車販売開始が発表。フィアット車はスペインから輸入される。

● 13日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、ヨニス・ジブチ・エネルギー天然資源相と炭化水素、天然ガス、鉱業関連分野における情報・知見の共有及び技術支援に関する覚書に署名。

● 14日、アルジェリア中央銀行は、外貨準備高が2023年2月末に646.3億ドルに達したと発表。

● 14日、ラフルーフ公共事業・水・基礎インフラ相は、ブイラ県とベジャイア県を繋ぐ85kmの高速道路建設計画の視察のためにベジャイア県を訪問。当該計画は2013年に中国鉄建（CRCC）とアルジェリア橋・建築工事公社（SAPTA）が1兆6千億DZDで受注し、工事進捗率85%となっている。

● 14日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は露原子力専門公社ロスアトム代表団と面会し、ザグダール産業相はチェリョーミン・モスクワ市対外経済・国際関係局長と面会。

● 19日、アウン産業・製薬相は当国での伊フィアットブランド発足式に参加し、国内自動車製造業が最重要関心事項であると述べた。なお、フィアット社は、同社のオラン工場は、初期投資2億ユーロにて、生産開始は本年末、現地生産率30%を予定し、4車種を年間9万台生産する予定と発表。

● 19日、サイダル社コンスタンティーヌ生産拠点長は、同日から病院向けヒトインスリンの全生産工程を行うと発表。本プロジェクトは露の研究所との共同枠組で実施されるものであり、数か月以内に年間生産400万本を達成し、将来的に国内需要を満たす見込みであると述べた。

● 19日、メラッド内務・地方自治・国土整備相とヴォルベルス当地独大使は、緑の自治体プロジェクトにおけるエネルギー移行分野の協力プロジェクトを380万ユーロの追加予算のもと2024年末まで更新する協定に署名。

● 21日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、食用油の国内需要増加に鑑み、国内生産者の消費者への直接販売の許可を決定。

● 21日、アルジェリア航空と国営海上輸送会社ENTMVは、ラマダン月に際し、海外からアルジェリアへの運行料金50%引き下げを発表。

● 22日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、貿易促進庁（ALGEX）を訪問し、国内非製造品の需要を満たすために必要であるとして、輸入を保留されている手続の加速化を指示。

● 23日、アルカブ・エネルギー・鉱業相、アウン産業・製薬相、ダハレブ環境・再生可能エネルギー相は、水素エネルギー推進に関する国家戦略に関するワ

ークショップを開催し、水素開発ロードマップや製造・販売・輸出のための開発に関するフレームワークを設置する意思に言及。年間１００億ドル以上の達成を目標とし、２０４０年までにヨーロッパ市場の需要の１０％を供給する目標と発表。

●２３日、ソネルガス・グループは、２０２２年の輸出実績は２億１７００万ユーロであったと発表。

●２５日、アルジェリア対外銀行（ＢＥＡ）のイスラム金融局長は、２０２１年１２月の発足以降、先週末までに約２１０億ディナールのイスラム金融預金を調達したと述べた。

●２５日、海水淡水化プラント及び関連インフラの建設・運営・保守を担う国立海水淡水化機関（ＡＮＤＥ）が７日付の大統領令２３－１０３に基づき水省の傘下に設立された。

●２７日、ジトゥニ商業・輸出促進相は、他省庁と協力の下、製品供給網安定化のための行動計画を策定すると発表。また、現在税関で留め置いている輸入原材料や素材に関し、国内経済への影響を考慮し、税関を通過させる措置を取った旨発表。

●２７日、国営石油公社ソナトラックは、２０２２年の売上高６００億ドル、炭化水素生産量は１８９．６百万トン（石油換算、前年比２％増）であったと発表。

●２８日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、仏Ｅｎｇｉｅ ＣＥＯと面会し、天然ガス市場の現状と見通しの他、水素の輸出に向けた投資機会について協議。同日、同ＣＥＯはハッカール・ソナトラック総裁とも面会。

●２９日、２０２１年２月１６日の省令に基づき、人の消費を目的とする国内生産品、輸出品、輸入品の全てにＢＴＩＮバーコード表示を義務づける措置が施行。

治安

●２日、アルジェ県ライス・ハミドゥ地区警察が猥褻目的で未成年少女を誘拐した４人組を逮捕した旨報道。犯人から刃物多数と薬物を押収した。

●２日、憲兵隊がブーメルデス県エル・ハルーバ地区の高速道路でドライバー襲撃を重ねていた犯罪グループを逮捕した旨報道。犯人は東西高速道路のブーメルデス・アルジェ・ブリダを結ぶ区間で狙ったドライバーから金銭や装身具等の貴重品を強奪していた。

●４日、当国ＵＡＥ大使館に対する脅迫・詐欺（リビアで爆撃の被害を受けたとして多額の賠償を要求）で先月２５日にコンスタンティーン地域警察に逮捕された男に対し、裁判所は禁固３年の判決を宣告した。

●４日、憲兵隊がアイン・デフラ県エル・マイン地区の公道で車両を使って女子生徒の誘拐を試みた女性２人と共犯女性１人を逮捕した旨報道。

- 5日、アルジェ県警は、アルジェ県ルイバ地区警察が街頭暴力集団に属する13人を逮捕し、刃物6丁、猟銃1丁及び携帯電話機を押収した旨発表。
- 9日、国軍は1日から7日までの掃討作戦でテログループ支援者8人を逮捕したと発表。
- 14日、ティジ・ウズ県警察は、同県内の村の郵便局で13日の終業直前、刃物で武装した覆面の男が押し入り局員を脅迫、多額の現金を強取して逃走したと発表。
- 15日、国軍は14日にボルジ・バジ・モクタール県においてテロリスト1人が軍当局へ投降したと発表。投降時、カラシニコフ小機関銃1丁と多数の弾丸等を所持していた。
- 15日、国軍は8日から14日までの掃討作戦でテログループ支援者4人を逮捕したと発表。
- 18日、アンナバ県警察は、同県エル・ブーニ地区所在のシディ・サレム警察署が9日に数十人の暴徒による襲撃を受け、出入り口等を破壊されたうえ、署員数名が負傷したと発表。警察は特別部隊を出動させ襲撃者59人を逮捕。
- 20日、アンナバ県警察は、9日に発生したシディ・サレム警察署襲撃事件に関し、襲撃者59人の逮捕に反発した数十人の暴徒により同警察署が再び襲撃を受けたと発表。暴徒らはサーベル、鉄棒、石、発煙筒等を携行して同署へ襲来、署内への侵入は阻止されるも、警察車両や一般車両が破壊された。
- 22日、国軍は21日にボルジ・バジ・モクタール県においてテロリスト1人が軍当局へ投降したと発表。投降時、カラシニコフ小機関銃1丁と多数の弾薬等を所持していた。
- 22日、国軍は15日から21日までの掃討作戦でテログループ支援者9人を逮捕したと発表。
- 25日、ベジャイア県警察は、情報に基づき複数の建物を搜索し、売春組織の構成員18人（うち11人が女性）を逮捕した旨発表。
- 28日、国軍は26日にボルジ・バジ・モクタール県においてテロリスト1人が軍当局へ投降したと発表。投降時、カラシニコフ小機関銃1丁と、手榴弾2個及びその起爆装置2個、弾倉5個、多数の弾薬等を所持していた。
- 29日、国軍は22日から28日までの掃討作戦でテログループ支援者5人を逮捕したうえ、ティジ・ウズ県において爆弾5個の保管されたテロリストのアジト1か所を発見し破壊した旨発表。
- 30日、アルジェ県警察は、27日から28日の夜間にかけて麻薬及び違法薬物の取引・消費並びに、刃物所持に係る諸事案につき209人を逮捕したと発表。大麻、ヘロイン、向精神薬、刃物及び発煙筒を押収した。